

# 昭和59年版 医師国家試験問題注解

——付・例題——



医師国家試験問題注解

編集委員会編

第5分冊

産科学

# 昭和59年版 医師国家試験問題注解

— 付. 例 題 —

医師国家試験問題注解

編集委員会編



問題編

第5分冊

産科学



金原出版株式会社

東京・大阪・京都

## 序

本書の昭和59年版を現役の医学生諸君と、医師国家試験を控えている卒業生諸君にお届けする。本書は今回より問題編と解答・注解編の2分冊とはなったが、合わせてみると何と重いことか、そして何と厚いことか。人は言う、まるで電話帳みたいではないか、と。悪口とも聞こえ、また、本書の意義を高く評価しているようにも響く。

頁を繰るだけで、何となく圧倒されたような気持ちになる。当然かもしれない。しかし諸君がこれまで読んだ臨床医学の参考書のすべてを積んでみたまえ。何と背の高いことか。本書は、それらの内容をまことに手際よくコンパクトにしたものと考えたらよいだろう。つまり、臨床医学のエッセンスを集約したのが本書であるといっても過言ではないのである。

医師国家試験は、臨床上必要な医学および公衆衛生に関して、医師として具有すべき知識および技能について、これを行う、ことになっている。だから基本的問題のみが出題されてよさそうに思われるが、実際はなかなかそうもいかないようである。いわゆる難問、奇問が少なくなっていることは近年のよい傾向ではあるが、やはり今でもひとひねりした問題がないとはいえない。大学の医学教育をきちんと受けていれば、自然に医師国家試験はパスできるはずであるが、実際はそうでもないところに問題がある。これまでの出題問題をよく検討しておくことはどうしても必要である。また、MCQ方式の問題を解答するには、ちょっとしたコツも必要なようである。こういったことを予じめ会得しておくのと、おかないのとでは天地雲泥の差である。医師国家試験を通過すれば医師になれるのに、不合格であつたら、ただの人になることは、諸君が一番よく知っているはずである。だから、医科大学を卒業した以上は、どうしても医師国家試験に合格しなければならない。それがためには、医科大学における講義と実習をまじめに受けた上に、本書のような例題を中心にした実践的訓練をしておくことが重要なのである。

今、医師国家試験は曲り角にきている。厚生省の中に「医師国家試験制度改善委員会」ができて今大いに議論し、検討が行われている。やさしくして合格率を上げるのが目的ではなく、卒前教育を修了した時点で、これから指導医の下で診療に従事してよいか、どうかの資格を認定するための正しい試験になるようにするための作業が行われていると解してよいだろう。

本書には、医師国家試験のためという目的のあることは間違いないが、それとともに、臨床各科の学習のポイントが示されているとみてよい。必ずや諸君のこれからの勉強に役立つといつてよいと思う。ぜひ座右において、臨床各科の補習書として役立てるように希望したい。それも、医師国家試験を目前にして利用するのではなく、休暇を利用してじっくり利用してみるというやり方をおすすめしたい。

本書の厚さと重さに圧倒されずに、slow でもよいから steady に、しかも休暇を利用して本書を利用されることを心から望みたい。

昭和58年5月

医師国家試験問題注解編集委員会

## 各科領域の問題を読まれる方へ

### E. 産 科 学

産科に関しては受精、着床、妊娠成立初期、妊婦管理 (prenatal care)、分娩の三要素、産褥の生理の一連の範囲における正常編、異常編から基本的な問題が毎年くりかえし出題されている。しかし産科学は教科書で勉強するだけでなくポリクリで産科外来、病棟、分娩室で実際に見学していないと理解が不十分である。

たとえば妊婦検診の実際、児心音聴取の方法、超音波断層法によるGSの見方、産科カルテ、母子手帳について、あるいは妊婦の入院から分娩(第1期、第2期、第3期)そして退院までの経過などは実際の症例を目で確かめる必要がある。

一方、周産期の管理においてME、内分泌的検査法が年々充実してきている。

初期発生学ことに体外受精の方法と適応をはじめ、compound scope と UCG-titer による切迫流産の管理、分娩監視装置と fetal distress、胎盤機能検査( $E_3$ , HPL)、産褥初発排卵を左右する因子、amenorrhea-galactrrhea syndrom などについては、新しい知識を整理しておかねばならない。

# 産 科

【問1】 卵巣について正しいのはどれか。

- (1) 卵胞の成熟の程度は頸管粘液の分泌量と関係がある。
  - (2) 成熟卵胞の存続期間は一定していない。
  - (3) 月経黄体の存続期間はおよそ一定している。
  - (4) 黄体は最終的には結合組織におきかわる。
- a (1), (3), (4)のみ      b (1), (2)のみ      c (2), (3)のみ  
d (4)のみ      e (1)~(4)のすべて

【問2】 子宮動脈は次のどの動脈から分岐しているか。

- a 内腸骨動脈      b 外腸骨動脈      c 上股動脈  
d 卵巣動脈      e 大腿動脈

【問3】 次のうち誤っているのはどれか。

- (1) 腔内容の清浄度Ⅰ度では Döderlein 杆菌が存在する。
  - (2) 子宮内膜の緻密層は海綿層より子宮腔側にある。
  - (3) 受精卵は胞胚 (blastula) の時期に子宮内膜に着床する。
  - (4) 妊娠黄体の機能は妊娠週数が進むにつれて増大する。
- a (1), (3), (4)のみ      b (1), (2)のみ      c (2), (3)のみ  
d (4)のみ      e (1)~(4)のすべて

【問4】 妊娠の成立について誤っているものは次のうちどれか。

- a 受精は通常、排卵後48時間以内に行われる。
- b 受精が行われる部位は通常、卵管膨大部である。
- c 妊卵は通常、卵管の輸送機能で子宮腔に送られる。
- d 妊卵の着床部位は通常、子宮内膜の海綿層である。
- e 着床にはトロホブラストの組織融解機能が重要である。

【問5】 正常妊娠について誤っているのはどれか。

- a つわりは第6週前後に現れることが多い。
- b 胎動は第20週前後より自覚されることが多い。
- c 免疫学的妊娠反応は第6週ではほぼ100%陽性となる。
- d 超音波断層法で gestational sac (胎嚢) を認めるのは、第5週ごろからである。
- e X線単純撮影で胎児の骨格が現れるのは、第24週ごろからである。

【問6】 正常妊娠について正しいのはどれか。

- (1) 妊婦の腹囲は妊娠第9か月末のときもっとも大きい。
  - (2) 妊娠第6か月末の子宮底の高さはほぼ臍高である。
  - (3) 非妊時に比し食餌性糖尿をみることが多い。
  - (4) 尿中 HCG 値は妊娠第4か月末でもっとも高値を示す。
  - (5) 妊娠後半期における体重増加は1週に約500gである。
- a (1), (2)      b (1), (5)      c (2), (3)      d (3), (4)      e (4), (5)

【問7】 次の部位の中で、受精卵の着床異常がもっとも起こりやすいのはどれか一つをえらびなさい。

- (㊦) 腹 膜      (㊩) 子宮頸管      (㊪) 卵管膨大部      (㊫) 卵 巢      (㊬) 卵管采

【問8】 次のうち誤っているのはどれか。

- (1) 受精卵 (妊卵) は分裂して桑実胚 (morula) となり卵管内を輸送される。
  - (2) 臍帯の真結節は、膠様質または血管が増殖した結節をいう。
  - (3) 妊娠の腹部聴診において、胎児側より発する音には児心音、臍帯雑音、大動脈音がある。
  - (4) 産道を通過する際に児頭周囲で最小となるものは小斜径周囲である。
- a (1), (3), (4)のみ      b (1), (2)のみ      c (2), (3)のみ  
d (4)のみ      e (1)~(4)のすべて

【問9】 次のうち母体側の組織であるのはどれか。

- (1) Wharton の膠様質      (2) 羊 膜      (3) 絨毛膜      (4) 脱落膜

## 2 産科問題

- a (1), (3), (4)のみ      b (1), (2)のみ      c (2), (3)のみ  
d (4)のみ      e (1)~(4)のすべて

【問 10】 卵膜の構成において胎児を包んでいる外側から順に番号を記せ。

- a 脱落膜      b 絨毛膜      c 羊膜  
(1) a, b, c      (2) b, c, a      (3) c, b, a      (4) b, a, c

【問 11】 羊水について正しいものは次のうちどれか。

- (1) 羊水中にクレアチニンが含まれるのは病的である。      (2) 羊水は羊膜から分泌される。  
(3) 羊水中には胎児の排泄物が含まれている。      (4) 羊水は胎児により嚥下されている。  
(5) 羊水検査で胎児の染色体異常はわからない。  
a (1), (2), (3)      b (1), (2), (5)      c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)      e (3), (4), (5)

【問 12】 次の羊水に関する文章のうち正しいものはどれか一つえらびなさい。

- a 早期破水とは、陣痛開始前に破水したものをいう。  
b 前期破水とは、陣痛開始後、いまだ子宮口が全開する前に破水したものをいう。  
c 破水前に臍帯が先進部とともに内診しうるとき、これを臍帯脱出という。  
d 一般に羊水の pH は弱アルカリを呈する。  
e 羊水は羊膜上皮より分泌されたえず更新されているが、胎児が嚥下することはない。

【問 13】 胎盤の形成について正しい組合せは次のうちどれか。

- a 滑平絨毛膜 (chorion laeve) — 被包脱落膜 (decidua capsularis)  
b 滑平絨毛膜 (chorion laeve) — 基底脱落膜 (decidua basalis)  
c 繁生絨毛膜 (chorion frondosum) — 被包脱落膜 (decidua capsularis)  
d 繁生絨毛膜 (chorion frondosum) — 基底脱落膜 (decidua basalis)  
e 繁生絨毛膜 (chorion frondosum) — 壁脱落膜 (decidua parietalis)

【問 14】 次のうち正しいものはどれか。

- a 絨毛間腔は新鮮な動脈血のみで満たされる。  
b 前羊水とは羊膜と絨毛膜の間に貯留する液をいう。  
c 子宮の生理的収縮輪は子宮口開大、胎児下降に伴い上昇する。  
d 分娩時、児頭の第 4 回旋は児の横軸回旋である。  
e 冠状縫合は鼻と大泉門の間にある。

【問 15】 次のうち誤っているものはどれか。

- a 妊娠 10 か月末における臍帯の長さは通常 50 cm である。  
b 臍帯表面は絨毛膜で包まれている。  
c 臍帯内には 2 本の臍動脈と 1 本の臍静脈がある。  
d 臍帯雑音は胎児心音と同数である。  
e 臍帯巻絡は児の頸部にみられることが多い。

【問 16】 臍帯の構造について次の文中の  の中に下記の適当な言葉を選択してその番号を記せ。

臍帯の長さは成熟児の場合約  cm で、その索の直径は、約  cm である。その表面は羊膜からなる羊膜鞘をもって被われ、その内容に  を有し、その中心部に 2 本の  と 1 本の  を含む。臍動脈は胎児の  を胎盤に送り臍静脈は  を胎盤から胎児に導く。

- (1) 30cm      (2) 50cm      (3) 3cm      (4) 1.5cm  
(5) Wharton's jelly      (6) Langhans cell      (7) 臍動脈      (8) 臍静脈  
(9) 動脈血      (10) 静脈血

【問 17】 胎児付属物について正しいのはどれか。

- (1) 卵膜は羊膜と滑平絨毛膜 (絨毛膜無毛部) から形成される。  
(2) 胎盤は繁生絨毛膜 (絨毛膜有毛部) と基底脱落膜から形成される。  
(3) 絨毛上皮は外層が syncytium 細胞層で、内層が Langhans 細胞層である。  
(4) 臍帯には 1 本の臍動脈と 2 本の臍静脈が通過し、その周囲に Wharton 膠様質がある。  
a (1)のみ      b (2), (3)のみ      c (2), (4)のみ  
d (1), (3), (4)のみ      e 上記 a~d 以外

【問 18】 次のうち正しいものはどれか。

- a 絨毛間腔を胎児血が還流する。
- b 妊娠初期には絨毛上皮細胞から分泌される HCG の作用によって、ルテイン嚢胞が発生することがある。
- c Friedman 反応は妊娠尿中のエストロゲンを検出するためのものである。
- d エストロゲンの分泌は妊娠初期にもっともたかまっており、HCG は逆に妊娠末期に増加する。
- e 黄体期の卵巣からはプロゲステロンのみが分泌される。

【問 19】 酸素分圧のもっとも高い血液が流れているのはどれか。

- a 胎児大動脈                      b 絨毛間腔                      c 臍動脈
- d Botallo 動脈管                  e 臍静脈

【問 20】 酸素化のもっとも低い血液は次のうちどこに存在するか。

- a 子宮動脈                      b 絨毛間腔                      c 臍動脈
- d Arantius 管                      e 臍静脈

【問 21】 次の物質の中で主として FSH 作用を有するものの組合せはどれか。

- a Human Menopausal Gonadotropine                      b Human Chorionic Gonadotropine
- c 妊馬血清 (PMS)                      d Prolactine
- (1) a, b                      (2) a, c                      (3) a, d                      (4) b, c
- (5) b, d                      (6) c, d

【問 22】 妊娠時の生理的変化について正しいのはどれか。

- (1) 子宮底の長さは妊娠月数とともに増加するが、妊娠第10か月では減少する。
- (2) 尿中 HCG 値は妊娠後期に月数とともに増加する。
- (3) 血中 estrogen 値は妊娠初期に最高となり、後期に減少する。
- (4) 循環血漿量は妊娠月数とともに増加し、妊娠第8～9か月頃に最大となる。
- a (1), (3), (4)のみ                      b (1), (2)のみ                      c (2), (3)のみ
- d (4)のみ                      e (1)～(4)のすべて

【問 23】 正常妊婦の血液性状について正しいのはどれか。

- (1) 血漿量の増加率より赤血球の増加率の方が大である。
- (2) フィブリノーゲン量は減少する。
- (3) 赤血球沈降速度は亢進する。
- (4) A/G比は低下する。
- a (1), (3), (4)のみ                      b (1), (2)のみ                      c (2), (3)のみ
- d (4)のみ                      e (1)～(4)のすべて

【問 24】 妊娠の生理的変化として誤っているのはどれか。

- (1) BMR(基礎代謝率)は上昇する。
- (2) 循環血液量は妊娠8～9か月で最高になる。
- (3) 糖排泄の腎閾値が低下する。
- (4) 肺活量は増大する。
- (5) 血液凝固能は妊娠末期には著明に低下する。
- a (1), (2)                      b (1), (5)                      c (2), (3)                      d (3), (4)                      e (4), (5)

【問 25】 次のうち正しいのはどれか。

- (1) 妊娠線様の皮膚変化は妊娠でなくても発生する。
- (2) 妊娠時には、赤血球大小不同症を伴う赤血球数、血色素量の減少がみられる。
- (3) 妊娠の中期から血液凝固能が次第に亢進するが、末期には減退する。
- (4) 妊娠に合併した卵巣嚢腫は茎捻転を起こしやすい。
- (5) 妊娠中の A/G 比は一般に低下する。
- a (1), (2), (3)                      b (1), (2), (5)                      c (1), (4), (5)
- d (2), (3), (4)                      e (3), (4), (5)

【問 26】 妊婦の血液について誤っているものの組合せは次のうちどれか。

- (1) 循環血液量は非妊娠時より増加する。
- (2) 血液凝固能は一般に亢進する。
- (3) 妊娠後半期には鉄欠乏性貧血が起こりやすい。
- (4) 妊娠末期には血清総コレステロール値が一般に減少する。
- (5) 血小板数が減少する。

#### 4 産科—問題

a (1), (2)      b (2), (3)      c (3), (4)      d (3), (5)      e (4), (5)

【問 27】 妊産婦の血漿フィブリノーゲン濃度がどれくらいになると、出血傾向に陥る危険があるか。

a 100mg/dl      b 200mg/dl      c 300mg/dl  
d 400mg/dl      e 500mg/dl

【問 28】 妊娠、分娩、産褥経過における母体の体重変動について誤っているものはどれか。

- (1) 一般に妊娠前より妊娠末期においては平均 11kg の体重増加がある。
- (2) 一般に妊娠初期においては悪阻などにより妊娠中期よりは体重増加の傾向は低い。
- (3) 一般に妊娠中は平均 1 週間に 500 g 以上の体重増加を示すのが普通である。
- (4) 一般に分娩終了直後においても母体体重は妊娠前よりも数キロ増加している。
- (5) 産褥経過において妊娠前の体重よりも減少する例よりは増加を呈する症例の方が多い。
- (6) 産褥経過で長期無月経とるいそうを呈する症例に Sheehan Syndrome がある。
- (7) 妊娠経過中急激な体重増加を示す場合、妊娠中毒症の浮腫などを考慮しなければならない。

【問 29】 次の組合せのうち誤っているのはどれか。

a 絨毛膜——Langhans 細胞層      b 腸骨後上棘——Michaelis 菱形窩  
c 真結合線——Guthmann 撮影法      d 乳輪——Montgomery 腺  
e 妊娠確徴——Hegar 徴候

【問 30】 産道に関して正しいのはどれか。

- (1) 骨盤入口平面では横径が前後径より長いのが普通である。
  - (2) 骨盤腔のもっとも広いのは骨盤闊(部)である。
  - (3) 骨盤の側結合線は平均約 15 cm である。
  - (4) 骨盤入口平面は立位では水平面と一致する。
  - (5) 骨盤出口平面は尾骨先端、坐骨棘、恥骨弓を含む。
- a (1), (2), (3)      b (1), (2), (5)      c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)      e (3), (4), (5)

【問 31】 次のうち正しいのはどれか。

- (1) 真結合線とは産科(学)的真結合線のことをいう。
  - (2) Hodge の第二平行平面は坐骨棘を通る。
  - (3) 産瘤を臀部にみることもある。
  - (4) 矢状縫合は左右頭頂骨の間にあり、両端に大泉門と小泉門がある。
- a (1), (3), (4)のみ      b (1), (2)のみ      c (2), (3)のみ  
d (4)のみ      e (1)~(4)のすべて

【問 32】 Guthmann 骨盤撮影法で判定できないのはどれか。

a 産科的真結合線      b 骨盤傾斜角      c 最短前後径  
d 児頭の下降度      e 坐骨棘間径

【問 33】 正常骨産道について正しいのはどれか。

- (1) 前後径(縦径)の最短は峽部縦径である。
  - (2) 産科学的真結合線は仙骨岬と恥骨結合上縁を結ぶ線である。
  - (3) 産科学的真結合線は平均 10.7 cm である。
  - (4) 峽部の横径は左右坐骨棘間の距離で表す。
  - (5) 骨盤誘導線(骨盤軸)は産道の膝部で急に前方に彎曲している。
- a (1), (2), (3)      b (1), (2), (5)      c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)      e (3), (4), (5)

【問 34】 次のうち正しいのはどれか。

- (1) 頭産瘤は胎児先進部にできるとは限らない。
  - (2) 頭血腫は骨縫合や泉門をこえて広がる。
  - (3) 頭産瘤は軟餅様の腫瘍で波動を触れない。
  - (4) 頭血腫は分娩後増大することがある。
  - (5) 頭産瘤は 1 個しか生じない。
- a (1), (2), (3)      b (1), (2), (5)      c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)      e (3), (4), (5)

【問 35】 次のうち誤っているのはどれか。

a 妊娠中胎盤から分泌されるホルモンにより母体乳腺は発育する。

- b 分娩終了により prolactin の分泌抑制が除かれる。
- c prolactin は下垂体前葉から分泌される蛋白性ホルモンである。
- d 乳汁分泌は普通分娩後8か月頃まで持続し1年ではあまり分泌されない。
- e 大量のエストロゲン投与は乳汁分泌の促進に効果的である。

【問36】 次のうち正しいのはどれか。

- (1) 大量の estrogen 投与は乳汁分泌を阻止する。
  - (2) 卵管内膜は脱落膜変化を起こすことはない。
  - (3) 胎盤が完成される時期は妊娠第3か月末である。
  - (4) 卵膜は胎児側から絨毛膜、羊膜、脱落膜の順に構成される。
  - (5) 羊水は胎児の肺まではいる。
- a (1), (2)      b (1), (5)      c (2), (3)      d (3), (4)      e (4), (5)

【問37】 児頭の大泉門について誤っているのはどれか。

- a 左右の前頭骨および側頭骨の間の間隙である。
- b はほぼ菱形を示す。
- c 冠状縫合は接続する。
- d 後方後頭位では母体の前方に向かう。
- e 生後ほぼ2年以内に閉鎖する。

【問38】 正常経過の満期妊婦の体重は妊娠前に比しどのくらいまで増加するか。

- a 5kg      b 10kg      c 15kg      d 20kg      e 25kg

【問39】 月経不順の婦人が妊娠した。BBT を測定していて、最終月経は1月1日から4日間、BBT の低温最終日は1月27日で1月28日より高温が4週持続している。この妊婦の分娩予定日は次のうちどれが適当と考えるか。

- a 10月8日      b 10月11日      c 10月20日      d 11月4日

【問40】 分娩予定日算出の根拠として不適当なものは次のうちどれか。

- (1) 体重      (2) 最終月経      (3) つわり      (4) 胎動初覚      (5) 腹 囲
- a (1), (2)      b (1), (5)      c (2), (3)      d (3), (4)      e (4), (5)

【問41】 次のうち正しいものはどれか。

- a 子宮底は妊娠月数が進むほど高くなる。
- b 高位破水では分娩時に胎胞をみることがある。
- c 子宮底を外診で触れうるのは妊娠第24週以後からである。
- d 骨産道のもっとも広い部分は骨盤入口である。
- e 女性の骨盤入口は心臓型が多い。

【問42】 母体の妊娠性変化に関係ないものはどれか。

- a Piskacek's sign      b Montgomery 氏腺
- c 子宮腔部のリビド着色      d 頸管粘液の結晶形成著明

【問43】 Rh 陰性の妊婦で経過を観察しなければならない項目のうちもっとも重要なものは次のうちどれか。

- a 体重      b 血糖値      c 血中胎盤性ラクトーゲン (HPL)
- d 尿中絨毛性ゴナドトロピン (HCG)      e 間接 Coombs 試験

【問44】 通常28日型の正常な月経周期を有する婦人が3月10日より5日間を最終月経として妊娠した。分娩予定日はいつか。

- a 翌年の1月10日      b 12月22日      c 12月15日      d 12月3日

【問45】 次の妊婦指導のうち、正しいものはどれか一つえらびなさい。

- a 妊娠中の母体の体重増加は10kg 前後である。
- b BBT は排卵後妊娠成立があると分娩まで高温相を持続する。
- c 妊娠中の母体の梅毒感染は妊娠末期ほど児への感染が強い。
- d 分娩を促進させるため分娩第1期から陣痛発作時には腹圧を加えた方がよい。
- e 妊娠中血沈が促進している場合、フィブリノーゲン不足を疑う。

【問46】 次の事項について正しいものはどれか。

- a 母体が妊娠初期に風疹に罹患すると児の眼、耳の奇形が起こりやすい。
- b 排卵誘発剤を使用して妊娠した場合はその半数以上に多胎妊娠がみられる。
- c 妊娠した場合の黄体は妊娠月数と共に発育し、産褥期にはいってその機能は減弱する。
- d EPH ゲストローゼのスコアは浮腫、蛋白尿、最高血圧の3者を採点の対象としている。

6 産科一問題

e 分娩誘導の薬物的方法としては麦角剤がもっとも有力な薬剤である。

【問 47】 先天性風疹症候群にみられる異常はどれか。

- (1) 白内障 (2) 動脈管開存 (3) 血小板減少性紫斑病  
(4) 骨乾端の骨変化  
a (1), (3), (4)のみ b (1), (2)のみ c (2), (3)のみ  
d (4)のみ e (1)~(4)のすべて

【問 48】 次のうち正しいのはどれか。

- (1) 風疹の流行時に、妊娠初期の血清反応陰性例は予防接種をするのが良い。  
(2) 羊水中の表面活性物質の測定は胎児の成熟度の判定に役立つ。  
(3) 尿中エストリオール値は無脳児妊娠では低い。  
(4) 初産婦の頸管開大は内子宮口から始まる。  
(5) 破水前でも子宮全開大なら、鉗子分娩の要約はみたされる。  
a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 49】 次のうち正しいのはどれか。

- (1) 成熟児頭の大横径は約 8 cm である。  
(2) 妊娠第 9 か月末の子宮底の長さは約 30 cm である。  
(3) 妊娠第 7 か月末の胎児体重は約 1000 g である。  
(4) 側結合線は約 15 cm である。  
(5) 妊娠第 10 か月末の尿中 estriol 値は約 5 mg/日 である。  
a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

【問 50】 CPD (Cephalo Pelvic Disproportion) の診断に直接関係を有さないものはどれか。

- a Guthmann 法 b Martius 法 c 超音波断層法  
d Apgar Score e Colcher-Sussman 法

【問 51】 胎盤所見についての記述で誤っている組合せはどれか。

- (1) 前置胎盤——凝血付着 (2) 常位胎盤早期剝離——凝固壊死  
(3) 妊婦梅毒——蒼白肥大 (4) 血液型不適合妊娠——萎縮縮小  
a (1), (3), (4)のみ b (1), (2)のみ c (2), (3)のみ  
d (4)のみ e (1)~(4)のすべて

【問 52】 胞状奇胎分娩後の管理に不必要なものは次のうちどれか。

- a 基礎体温 (BBT) b 一定期間の避妊指導  
c 定期的尿中絨毛性ゴナドトロピン (HCG) 定量  
d 定期的スミアテスト e 随時の胸部エックス線撮影

【問 53】 常染色体異常による症候群は次のうちどれか。

- a Klinefelter 症候群 b Down 症候群 c Turner 症候群  
d Stein-Leventhal 症候群 e Chiari-Frommel 症候群

【問 54】 次のうち誤っているのはどれか。

- a 第 1 頭位では児背が母体の左側にある。  
b 頭位の第 1 分類では児背は母体の前方にある。  
c 第 2 骨盤位では児背は母体の右側にある。  
d 第 2 横位第 2 分類では児背は母体の後方にある。  
e 第 1 横位では児頭が母体の右側にある。

【問 55】 分娩第 2 期の胎児仮死の診断にもっとも適切なのはどれか。

- (1) 超音波断層法 (2) 羊水検査 (3) 尿中エストリオールの測定  
(4) 胎児血 pH の測定 (5) 胎児心拍数と子宮収縮の計測  
a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3) d (3), (4) e (4), (5)

【問 56】 次のうち正しいのはどれか。

- (1) 昭和 50 年の周産期死亡率は 16.0 である。これは出生 10,000 に対する周産期の児死亡数を表している。  
(2) 昭和 50 年の妊産婦死亡率は 2.9 である。これは出生 10,000 に対する妊産婦の死亡数を表している。

- (3) 我が国の周産期死亡は後期死産の多いのが特徴である。  
 (4) 後期死産は妊娠満20週以後の死産をいう。  
 (5) 我が国の妊産婦死亡原因の第1位は産褥熱である。

a (1), (2)      b (1), (5)      c (2), (3)      d (3), (4)      e (4), (5)

【問57】妊婦における仰臥位低血圧症候群の治療としてもっとも有効なものは次のうちどれか。

- a 輸液      b 心マッサージ      c 側臥位への体位変換  
 d 保温      e 呼吸の管理

【問58】妊婦に低線維素原血症をもっとも起こしやすいものは次のうちどれか。

- a 子宮内胎児死亡      b 羊水塞栓症      c 前置胎盤  
 d 血小板減少症      e 常位胎盤早期剝離

【問59】習慣性流産の原因となり難いのは次のうちどれか。

- (1) 粘膜下子宮筋腫      (2) 子宮頸管裂傷      (3) 子宮奇形      (4) 卵巣腫瘍  
 a (1), (3), (4)のみ      b (1), (2)のみ      c (2), (3)のみ  
 d (4)のみ      e (1)~(4)のすべて

【問60】低線維素原血症 (hypofibrinogenemia) について誤っているのはどれか。

- (1) 常位胎盤早期剝離や羊水塞栓が原因となる。  
 (2) 続発症として急性腎不全を合併することがある。  
 (3) 著明な血液凝固障害をきたしやすい。  
 (4) 赤沈値が著しく亢進する。

a (1), (3), (4)のみ      b (1), (2)のみ      c (2), (3)のみ  
 d (4)のみ      e (1)~(4)のすべて

【問61】次のうち正しいのはどれか。

- (1) 妊娠によって Wassermann 反応が陽性になることがある。  
 (2) 一卵性双胎の場合、両児間の隔壁に絨毛膜が含まれる。  
 (3) 糖尿病妊婦から生まれた新生児は、しばしば痙攣を起こす。  
 (4) 妊娠中毒後遺症の主要所見は蛋白尿と高血圧である。

a (1), (3), (4)のみ      b (1), (2)のみ      c (2), (3)のみ  
 d (4)のみ      e (1)~(4)のすべて

【問62】妊娠を確認するための方法でもっとも適当な組合せは次のうちどれか。

- (1) Friedman 反応      (2) 免疫学的反応 (HAIR)      (3) 基礎体温 (BBT)  
 (4) Doppler 法      (5) FECG

a (1), (2)      b (1), (5)      c (2), (3)      d (3), (4)      e (4), (5)

【問63】妊娠の早期診断として、もっとも適切な検査は次のうちどれか。

- a 腔内容細胞診      b 尿中プレグナジオール測定  
 c 腹部レントゲン撮影      d 免疫学的妊娠反応  
 e 超音波 Doppler 法

【問64】次のうち誤っているのはどれか。

- (1) 免疫学的妊娠反応は尿中 HCG を検出する検査法である。  
 (2) 生物学的妊娠反応は尿中 HCG を検出する検査法である。  
 (3) Friedman 反応は卵胞の破裂または出血の有無により判定する検査法である。  
 (4) Rubin's test は通水により卵管疎通性の有無を調べる検査法である。

a (1), (3), (4)のみ      b (1), (2)のみ      c (2), (3)のみ  
 d (4)のみ      e (1)~(4)のすべて

【問65】妊娠の疑徴(半確徴)でないのはどれか。

- a 腔分泌亢進      b 子宮増大      c 乳腺の発育肥大  
 d 妊娠線出現      e 無月経

【問66】妊娠について正しいのはどれか。

- (1) 基礎体温は妊娠中期以降には下降する。  
 (2) Leopold 触診法の第1段で児頭を触知したときは骨盤位である。  
 (3) 胎動の自覚は妊娠の確徴である。

8 産 科一問題

(4) 子宮底の高さが最高となるのは妊娠10か月である。

(5) 臍帯雑音は臍帯の異常によって起こる臍帯静脈の血流音である。

- a (1), (2)      b (1), (5)      c (2), (3)      d (3), (4)      e (4), (5)

【問 67】 妊娠中に尿中に現れるステロイドのうち胎児胎盤機能ともっとも関係の深いものは次のうちどれか。

- a コーチゾル      b プレグナジオール      c エストラジオール  
d エストリオール      e アルドステロン

【問 68】 胎児胎盤系の機能測定法として現在もっとも広く用いられているものは次のうちどれか。

- a 尿中エストリオール測定      b 尿中プレグナジオール測定  
c 尿中絨毛性ゴナドトロピン (HCG) 測定      d 尿中胎盤性ラクトージン (HPL) 測定  
e 耐熱アルカリフォスファターゼ測定

【問 69】 妊娠20週で、胎児の生存を確認するのに一番よいのは。

- a フリードマン反応      b UCG titration      c ドップラー法  
d 双手診      e レントゲン撮影      f トラウベ

【問 70】 胎盤機能検査法として不適当なものを一つ選びなさい。

- a HPL      b エストリオール      c 耐熱性アルカリフォスファターゼ  
d LHRH      e CAP

【問 71】 分娩第2期の胎児仮死 (fetal distress) の診断に重要なものはどれか。

- (1) 胎児末梢血の pH      (2) 産瘤の急激な増大  
(3) 尿中エストリオール      (4) 早発性徐脈 (early deceleration)  
(5) 子宮雑音の増強

- a (1), (2)      b (1), (5)      c (2), (3)      d (3), (4)      e (4), (5)

【問 72】 日本人成人婦人の骨盤計測値として、もっとも平均に近いと思われるものはどれか。外結線、真結合線、側結合線の順に (cm)。

- a 23, 10, 15      b 19, 11, 15      c 19, 15, 15  
d 23, 15, 19      e 15, 10, 19

【問 73】 頸管不全症の診断上重要なものはどれか。

- (1) 非妊娠時の頸管造影法による内子宮口の開大      (2) 妊娠中期の習慣性流産の既往  
(3) 子宮頸部の延長      (4) 外子宮口の開大      (5) 頸管の軟化  
a (1), (2)のみ      b (2), (3)のみ      c (3), (4)のみ  
d (4), (5)のみ      e 上記 a～d 以外

【問 74】 次の超音波 Doppler 信号のうち胎児心拍と同調するものはどれか。

- a 胎 盤      b 臍帯動脈      c 子宮動脈  
d 胎 動      e 上記のいずれでもない。

【問 75】 子宮内において、羊水を用いて診断の困難な疾患は。

- a 胎児赤芽球症      b 肺硝子膜症      c 蒙古症  
d 先天性心疾患      e Turner 症候群

【問 76】 次の羊水中の成分について、胎児成熟度の指標となるのはどれか。

- (1) クレアチニン      (2) アルカリフォスファターゼ  
(3) レシチン-スフィンゴミエリン比      (4) 脂肪細胞  
a (1), (3), (4)のみ      b (1), (2)のみ      c (2), (3)のみ  
d (4)のみ      e (1)～(4)のすべて

【問 77】 前置胎盤の診断に普通使用しない臨床検査は次のうちどれか。

- a 膀胱造影法      b 胎盤シンチグラフィ      c 骨盤動脈造影法  
d 超音波 Doppler 法      e 子宮鏡 (ヒステロスコープ)

【問 78】 正しい組合せはどれか。

- a 児頭大横径——超音波 Doppler      b 水頭症——超音波断層法  
c 前置胎盤——HCG 定量      d 卵膜遺残——基礎体温  
e 子宮体癌——コルボスコープ

【問 79】 次のうち正しいのはどれか。

- (1) 分娩予定日は最終月経の終了日より算出する。

- (2) 絨毛細胞は母体側の組織である。  
 (3) 無脳児妊娠では尿中 Estriol 値が低い。  
 (4) Piskacek 徴候は妊娠子宮の形態変化によるものである。  
 (5) 妊娠6か月の骨盤位は異常とはいえない。  
 a (1), (2), (3)      b (1), (2), (5)      c (1), (4), (5)  
 d (2), (3), (4)      e (3), (4), (5)

【問80】 妊婦に対し投与をさけたい薬剤は次のうちどれか。

- (1) 抗ヒスタミン剤      (2) 19-ノルステロイド      (3) ペニシリン  
 (4) ビタミン B<sub>2</sub>      (5) サイアザイド剤  
 a (1), (2)      b (1), (5)      c (2), (3)      d (3), (4)      e (4), (5)

【問81】 頸管無力症を伴う習慣性流産に関係する事項の組合せとしてもっとも適当なものはどれか。

- (1) Culdscopy      (2) Shirodkar 氏手術  
 (3) Madlener 氏手術      (4) Hystero-Salpingo-Graphy  
 (5) McDonald 手術      (6) Huhner Test  
 a (1), (2), (3)      b (2), (3), (4)      c (2), (4), (5)  
 d (3), (4), (5)      e (3), (4), (6)      f (4), (5), (6)

【問82】 胎盤剝離前に大出血があるとき、どれを選ぶか。

- a 臍帯をひいて胎盤をはがす。      b 胎盤鉗子を用いる。  
 c 胎盤用手剝離。      d 臍帯静脈から滅菌食塩水を注入する。  
 e 長ガーゼを腔内に挿入する。

【問83】 流産のうち胎児が生存していて治療の対象となるものは。

- a 切迫流産      b 不全流産      c 完全流産  
 d 稽留流産      e 進行流産

【問84】 次の文によりA～Bの問いに答えよ。

25歳の1回経産婦。前回分娩はCPDのため帝王切開を受けている。月経はほぼ30日型で整順。最終月経は昭和50年2月20日より5日間。本日(4月13日)朝急激な下腹部の激痛を訴えて来院した。

顔面蒼白、脈拍毎分110で微弱。血圧90/70 mmHg。軽度の悪心がある。少量の子宮出血を認めるが、下腹部の圧痛強く、腔腹壁双合診によっても内性器の状態は明らかにしえない。

A. この症例についてもっとも適切な診断は次のうちどれか。

- a 子宮破裂      b 正常位胎盤の早期剝離      c 流産  
 d 卵管妊娠の中絶      e 卵巣出血

B. 救急処置としてもっとも重要なものは次のうちどれか。

- a 輸血      b 血圧上昇薬投与      c 鎮痛薬投与  
 d 止血薬投与      e 副腎皮質ステロイド剤投与

【問85】 救急治療を必要とするのはどれか。

- a 児頭の回旋異常      b 常位胎盤早期剝離      c 臍帯下垂  
 d 妊娠子宮脱      e 新生児頭血腫

【問86】 切迫流産について正しいのはどれか。

- (1) 子宮出血      (2) 子宮収縮      (3) 破水  
 (4) 妊卵の排出      (5) 下腹痛  
 a (1), (2), (3)      b (1), (2), (5)      c (1), (4), (5)  
 d (2), (3), (4)      e (3), (4), (5)

【問87】 妊娠初期の切迫流産にもっとも関係が深いのはどれか。

- (1) 外子宮口よりの出血      (2) 無月経の先行      (3) 軽度の下腹痛  
 (4) 頸管の開大      (5) 妊娠反応陰性化  
 a (1), (2), (3)      b (1), (2), (5)      c (1), (4), (5)  
 d (2), (3), (4)      e (3), (4), (5)

【問88】 次のうち誤っているのはどれか。

- (1) 自然流産の多くは母体側異常による。  
 (2) トキソプラズマ症は未熟(児)網膜症の原因となる。

10 産科一問題

(3) 妊娠中毒症は SFD (small for dates baby) の原因となる。

(4) 早期破水は胎児感染の原因となる。

(5) 子宮外妊娠でも子宮内膜は脱落膜変化を示すことが多い。

a (1), (2)      b (1), (5)      c (2), (3)      d (3), (4)      e (4), (5)

【問 89】 妊娠子宮が妊娠週数に比して過大な場合、もっとも否定しうる状態は次のうちどれか。

a 羊水過多      b 多胎妊娠      c 胎状奇胎

d 子宮内胎児死亡      e 子宮筋腫の合併

【問 90】 妊娠中期以降の子宮内胎児死亡の診断の組合せとして、もっとも適当と考えられるものをえらべ。

(1) Spalding's sign の確認      (2) 児心音消失      (3) フリードマン反応

(4) FECG 検査      (5) 子宮底、腹囲の測定      (6) 尿中 Estriol の定量

a (1), (2), (3)      b (1), (2), (4)      c (2), (3), (5)

d (2), (5), (6)      e (3), (5), (6)

【問 91】 妊娠末期の胎児死亡の診断に不適当な検査はどれか。

(1) 尿中 HCG 測定      (2) 尿中 Estriol 測定      (3) 腹部 X 線撮影

(4) 超音波 Doppler 法      (5) BBT 測定

a (1), (2)      b (1), (5)      c (2), (3)      d (3), (4)      e (4), (5)

【問 92】 卵管妊娠について正しいものは次のうちどれか。

(1) 卵管妊娠の中絶は妊娠のごく早期に起こることが多い。

(2) 中絶時の主症状は突然の下腹部せん痛と急性貧血である。

(3) Douglas 窩穿刺による腹腔内出血の証明は診断上有力な参考になる。

(4) 卵管妊娠の際の子宮にはなんらの妊娠性変化もみられない。

(5) 中絶時のショックは出血性のものであるから、たとえ重篤でも即刻開腹手術を行うべきである。

a (1), (2), (3)      b (1), (2), (5)      c (1), (4), (5)

d (2), (3), (4)      e (3), (4), (5)

【問 93】 卵管妊娠中絶にもっとも関係が深いのはどれか。

(1) 大量外出血      (2) 急性貧血      (3) 下腹痛

(4) 付属器摘出術      (5) 子宮収縮剤投与

a (1), (2), (3)      b (1), (2), (5)      c (1), (4), (5)

d (2), (3), (4)      e (3), (4), (5)

【問 94】 次のうち正しいのはどれか。

a 子宮外妊娠中、卵管峡部妊娠の頻度がもっとも高い。

b 一般に卵管膨大部妊娠の方が峡部妊娠より中絶症状が重篤である。

c 卵管妊娠の中絶は流産よりも破裂の形式をとることが多い。

d 子宮外妊娠の子宮内膜でも脱落膜様変性を示す。

e Douglas 窩穿刺で血液を吸引しなければ子宮外妊娠と確診することはできない。

【問 95】 卵管妊娠中絶について正しいのはどれか。

(1) Douglas 窩穿刺血液は凝固しにくい。

(2) 外出血は一般に正常妊娠の流産のときより少量である。

(3) 腹壁緊張は一般に急性虫垂炎のときより明瞭である。

(4) 中絶症状は一般に峡部妊娠より膨大部妊娠の方が重篤である。

(5) 中絶形式は破裂より流産の方が多い。

a (1), (2), (3)      b (1), (2), (5)      c (1), (4), (5)

d (2), (3), (4)      e (3), (4), (5)

【問 96】 次のうち誤っているものはどれか。

a 胎状奇胎流産後にしばしば絨毛上皮腫を発生する。

b 子宮外妊娠の治療法は子宮内容除去術である。

c 全前置胎盤の治療法として腹式帝王切開術がある。

d 破水は外子宮口が全開大あるいはこれに近い時期に起こるのが普通である。

e Schröder の徴候とは、児娩出直後ほぼ臍高であった子宮底が、胎盤剝離の際には高くなり、子宮体は右傾して硬く細長くなり、恥骨結合上の子宮部分がかえってふくらむことをいう。

【問 97】 羊水過多症の娩出児でもっとも注意しなければならないのはどれか。

- a 肺拡張不全                      b 先天性肺炎                      c 先天性横隔膜ヘルニア  
d 先天性食道閉鎖                      e 核黄疸

【問 98】 羊水過多症について正しいのはどれか。

- (1) 慢性羊水過多症は急性型から移行することが多い。  
(2) 心疾患のある妊婦にみられることが多い。                      (3) 早産を起こしやすい。  
(4) 分娩時に臍帯脱出をきたしやすい。                      (5) 妊娠中毒症と合併しやすい。  
a (1), (2), (3)                      b (1), (2), (5)                      c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)                      e (3), (4), (5)

【問 99】 次のうち誤っているのはどれか。

- (1) 児頭の産瘤は出産数日後に大きくなる。  
(2) 子宮内胎児発育遅延の原因として妊娠中毒症がある。  
(3) 未熟児の原因として双胎妊娠がある。  
(4) 無脳症は羊水過多症と関係が深い。  
(5) 巨大児は梅毒と関係が深い。  
a (1), (2)                      b (1), (5)                      c (2), (3)                      d (3), (4)                      e (4), (5)

【問 100】 双胎妊娠に関係ないものはどれか。

- a Hellin の概算法                      b 流早産                      c Collision (嵌合)  
d 双角子宮                      e 妊娠週数に比し子宮過大

【問 101】 双胎について誤っているものは次のうちどれか。

- (1) 双胎妊娠の妊婦には、重症の妊娠中毒症が多い。  
(2) 双胎妊娠には、未熟児や胎位異常が多い。  
(3) 双胎分娩の際には、一般に後産期の出血量が多い。  
(4) 双胎妊娠のときには、子宮壁が過度に伸展しているので、予定日超過妊娠に陥りやすい。  
a (1), (2), (3)のみ                      b (1), (3)のみ                      c (2), (4)のみ  
d (4)のみ                      e (1)~(4)のすべて

【問 102】 双胎妊娠について正しいものを一つえらびなさい。

- a 一卵性双胎は必ず両者が同性である。  
b 二卵性双胎は必ず両者が異性である。  
c 胎児の一方が頭位ならば、一方は必ず骨盤位である。  
d 予定日超過の分娩となる場合が多い。  
e ヘリンによれば 160 分の 1 の発生頻度である。

【問 103】 双胎について正しいのはどれか。

- (1) 一卵性双胎では胎児は常に同性である。  
(2) 子宮腔内において 2 児の間に隔膜があるのは二卵性双胎にかぎる。  
(3) 1 児の娩出後、異常がなければ 2 児の娩出を急ぐ必要はない。  
(4) 2 児の娩出後はオキシトシンを使用してもよい。  
a (1), (3), (4)のみ                      b (1), (2)のみ                      c (2), (3)のみ  
d (4)のみ                      e (1)~(4)のすべて

【問 104】 次の組合せのうち誤っているのはどれか。

- a 回旋異常——懸鉤 (interlocking)  
b 双胎——紙様胎児 (fetus papyraceus)  
c トキソプラズマ——ブタ  
d 持続性乳汁分泌——子宮萎縮  
e 卵管破裂——子宮後血腫

【問 105】 次の各項のうち正しい答の組合せをえらびなさい。

- (1) 無脳児妊娠の場合、母体尿中 Estriol 値は上昇する。  
(2) 無脳児妊娠の場合、母体尿中 Estriol 値は低下する。  
(3) 無脳児妊娠の場合、通常胎動は弱く外診上も胎動を感じることはできない。  
(4) 無脳児妊娠の場合、通常胎動は強く外診上も胎動をよく感じる。

## 12 産科問題

- (5) 無脳児分娩の場合は、頭位の方が分娩経過が順調であるが、特に過強陣痛に注意を要する。  
(6) 無脳児分娩の場合は、頭位よりは骨盤位の方がむしろ娩出しやすい場合があるが、特に微弱陣痛に注意を要する。

a (1), (3), (5)      b (2), (4), (6)      c (1), (4), (6)  
d (1), (3), (5)      e (1), (3), (6)      f (2), (4), (5)

【問 106】 無脳児の診断に関係ないものは何か。

- a Negri-Viana氏徴候      b 妊婦尿中 Estriol 値の低下  
c 妊婦の下腹部単純X線撮影      d 子宮収縮輪の上昇  
e 超音波断層法

【問 107】 SFD (small for dates) 児の原因となるのはどれか。

- (1) 糖尿病      (2) 妊娠中毒症      (3) 双胎  
(4) 前置胎盤      (5) 高年初産  
a (1), (2), (3)      b (1), (2), (5)      c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)      e (3), (4), (5)

【問 108】 妊婦で直ちに手術を行う必要のあるものは次のうちどれか。

- a 子宮筋腫      b 卵巣嚢腫      c 頸管ポリープ  
d 胆石症      e 急性虫垂炎

【問 109】 子癇発作中の母体のおもな直接死因は次のうちどの組合せか。

- (1) 脳出血      (2) 肺水腫      (3) 急性黄色肝萎縮  
(4) 急性腎不全      (5) 弛緩性出血  
a (1), (2)      b (1), (5)      c (2), (3)      d (3), (4)      e (4), (5)

【問 110】 妊娠中毒症にもっとも関係のないものはどれか。

- a 胎盤早期剝離      b 子癇      c PDS (Placental-Dysfunction-Syndrome)  
d 巨大児      e EPH Gestosis      f 未熟児

【問 111】 子癇について誤っているのはどれか。

- (1) 妊娠前半期に発作の起こることが少なくない。  
(2) 治療は原則として急速遂娩を第一に実施する。  
(3) 妊娠中毒症の重症、軽症に関係なく起こる。  
(4) 産褥期に起こることがある。  
(5) 精神障害を残すことがある。  
a (1), (2)のみ      b (2), (3)のみ      c (3), (4)のみ  
d (4), (5)のみ      e 上記 a～d 以外

【問 112】 妊娠3か月に合併した子宮頸癌 Ib期に広汎子宮全摘出術を行う場合、正しい治療方針はどれか。

- a そのまま経過をみて、分娩後に摘出する。      b 直ちに妊娠子宮のまま摘出する。  
c まず人工妊娠中絶術を行った後に摘出する。      d まず円錐切除術を行い、分娩後に摘出する。  
e まず放射線療法を行い、分娩後に摘出する。

【問 113】 妊娠中毒症の純型と混合型との比較について誤っているのはどれか。

- (1) 純型は初妊婦に多い。  
(2) 純型では浮腫の著明なことが多い。  
(3) 純型は次回妊娠で再発しやすい。  
(4) 混合型の諸異状は産褥早期に消失することが多い。  
(5) 妊娠第30週以前に発症するものは混合型のことが多い。  
a (1), (2)      b (1), (5)      c (2), (3)      d (3), (4)      e (4), (5)

【問 114】 妊娠中毒症と関係が深いのはどれか。

- (1) 羊水過少症      (2) 癒着胎盤      (3) 前置胎盤  
(4) 正常位胎盤早期剝離      (5) 子宮内胎児発育遅延 (IUGR)  
a (1), (2)      b (1), (5)      c (2), (3)      d (3), (4)      e (4), (5)

【問 115】 次のうち誤っているのはどれか。

- a 双胎妊娠では妊娠中毒症を合併しやすい。  
b 胎盤早期剝離では血液凝固系の検査をする。

- c 仰臥位低血圧症候群では第一に昇圧剤を投与する。
- d 糖尿病妊婦では子宮内胎児死亡が起こりやすい。
- e 心疾患妊婦の分娩では第2期の短縮を図る。

【問116】 次の文によりA～Bの問いに答えよ。

28歳の2回経産婦。分娩予定日は昭和50年4月6日。本日(4月13日)突然下腹部の激痛と少量の性器出血が起こったため来院。下肢に中等度の浮腫を認める。血圧160/100mmHg。尿蛋白3%。

A. 次の産科的診察所見のうち異常と思われるものはどれか。

- (1) 児頭は下方に触れるが、固定していない。
- (2) 恥骨結合上縁より子宮底までの長さ(子宮底長)は40cm。
- (3) 児心音は毎5秒9～9～9。
- (4) 子宮口は2横指径開大。
- a (1), (3), (4)のみ      b (1), (2)のみ      c (2), (3)のみ
- d (4)のみ      e (1)～(4)のすべて

B. 次のごとき血液検査所見がえられたが、この患者の処置に際して、もっとも留意すべきものはどれか。

- a 赤血球360万      b 白血球9200      c 血清総蛋白濃度6.8g/dl
- d Ht 36%      e 赤沈4mm/1時間

【問117】 DIC(播種性血管内凝固症候群)をきたす頻度の高いのはどれか。

- (1) 常位胎盤早期剝離      (2) 死児の子宮内長期稽留
- (3) 産褥敗血症      (4) 糖尿病合併妊娠      (5) 羊水過多症
- a (1), (2), (3)      b (1), (2), (5)      c (1), (4), (5)
- d (2), (3), (4)      e (3), (4), (5)

【問118】 母体血中の *Treponema pallidum* の胎盤感染が起こりにくい最終の妊娠時期は次のうちどれか。

- a 妊娠2か月の終りまで      b 妊娠3か月の終りまで      c 妊娠4か月の終りまで
- d 妊娠5か月の終りまで      e 妊娠6か月の終りまで

【問119】 妊娠初期の婦人が罹患した場合、胎児に白内障・内耳性聴力障害・心奇形が特に発生しやすいものは次のうちどれか。

- a 梅毒      b 流行性耳下腺炎      c 麻疹
- d 急性灰白髄炎      e 風疹

【問120】 妊婦に次の疾患を合併した場合、緊急外科手術を行う必要のあるものはどれか。

- a 付属器腫瘍      b 急性虫垂炎      c 鼠径ヘルニア
- d 胆石症      e 子宮筋腫

【問121】 次のうち誤っているのはどれか。

- (1) 慢性腎炎は妊娠により悪化することが多い。
- (2) 糖尿病妊婦では妊娠中毒症を合併しやすい。
- (3) 肺結核は妊娠中よりも分娩後に悪化しやすい。
- (4) 甲状腺機能亢進症は妊娠中増悪することが多い。
- (5) 分娩の1か月前に感染した梅毒は胎児に移行することが多い。
- a (1), (2)      b (1), (5)      c (2), (3)      d (3), (4)      e (4), (5)

【問122】 正常分娩について誤っているのはどれか。

- a 骨盤入口では児頭の矢状縫合は横径に一致する。
- b 児頭が下降するにつれて大泉門は次第に前方に向かい回旋する。
- c 児頭が骨盤闊部に達すると児頭の矢状縫合は斜径に一致する。
- d 児頭が骨盤出口部を通過するとき児は反屈運動をし伸展姿勢をとる。
- e 児頭は出口部を通過した後、肩甲の分娩機転に従い回旋する。

【問123】 正常分娩について誤っているのはどれか。

- a 児頭は小斜径周囲で産道を通ずる。      b 胎児心拍数は子宮収縮終了後に減少する。
- c 分娩時出血量は500ml未満である。      d 胎盤は胎児面から娩出するものが多い。
- e 第3期の所要時間は30分以内である。

【問124】 正常分娩の経過について適当でないものは次のうちどれか。

- a 分娩の前駆症状として児の胎動が激しくなる。